

本田圭佑氏がメインサポーターをつとめるポイントドネーションシステム
「BOSAI POINT」12月14日（月）より電子マネー「nanaco」と連携開始！

全国約72万店で貯まる「nanacoポイント」の寄付で災害に備える！

“防災の未来を描く新たなデザイン” が評価され2020年度グッドデザイン賞受賞！

ACCクリエイティブイノベーション部門のファイナリストにも選定

ポイントを寄付して災害時に防災用品を届ける、ポイントドネーションの新しい防災システム「BOSAI POINT」を運営する「BOSAI POINT PROJECT」は、2020年12月14日（月）より株式会社セブン・カードサービスが発行・運営する電子マネー「nanaco」との連携を開始します。これにより、全国のセブン&アイグループ各店をはじめ、nanaco マークのある全国約72万店（2020年10月末現在）のお店で利用した際に貯まる「nanacoポイント」を、「BOSAI POINT」サービスを通して寄付することが可能となります。

また、本プロジェクトが、「キャッシュレス化がすすむ社会で、防災の未来を描く新たなデザイン」として2020年度グッドデザイン賞を受賞しました。さらに、未来を創り出す、世の中を動かす可能性のあるアイデアとテクノロジーとの掛け算で産み出されたプロダクト&サービスが選ばれるACCクリエイティブイノベーション部門のACCファイナリストにも選定されました。

「BOSAI POINT PROJECT」は、HONDA ESTILO 株式会社（本社：大阪府吹田市、代表取締役社長：本田司）と、株式会社ワンテーブル（本社：宮城県多賀城市、代表取締役：島田昌幸）、サツドラホールディングス株式会社（本社：北海道札幌市、代表取締役社長兼CEO：富山浩樹）のグループ企業である株式会社リージョナルマーケティング（本社：北海道札幌市、代表取締役社長兼COO：渡部真也）の共同運営で、メインサポーターにプロサッカー選手の本田圭佑氏を迎え、2020年6月より全国サービスをスタートしました。

本サービスは、「BOSAI POINT」が連携するポイントサービスにおいて、サービス利用者が保有するポイントを「BOSAI POINT」を通して寄付することにより、災害時の非常食や充電機器といった支援品を購入、来る災害に備えてストックし、災害時に全国各地の避難所に届ける活動です。

「BOSAI POINT PROJECT」では、東日本大震災から10年という節目の2021年3月11日に向け、未来の災害に備えるための発信や活動、支援メニューの拡大を進めています。

その一つとして、経済産業省後援のもと、企業やサービスが参画する『ながら備蓄（ながらストック）』を通して、未来の災害に備える習慣の必要性を発信します。

また、新型コロナウイルス感染症への対策として、新型コロナウイルス感染症のワクチン開発支援と供給に取り組むグローバル・パートナーシップ「Gavi, The Vaccine Alliance（以下：Gavi）」と提携し、集まったポイントを寄



付する活動を継続するなど、様々な災害への支援の輪を広げてまいります。

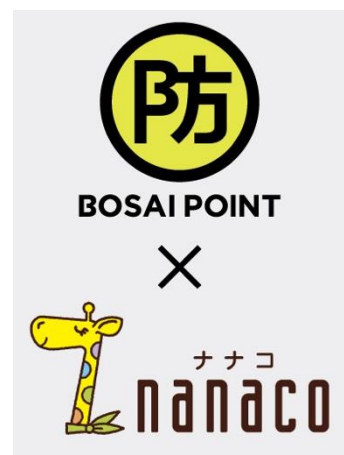
■電子マネー「nanaco」との連携

12月14日より電子マネー「nanaco」との連携を開始

全国のセブン&アイグループ各店をはじめ、「nanaco」マークのある全国約72万店(2020年10月末現在)のお店で利用した際に貯まる「nanacoポイント」を寄付することが可能となります。

・サービス開始日時：2020年12月14日(月)9:00AM

また、「BOSAI POINT PROJECT」は「nanaco」マークのあるお店にて、「BOSAI POINT」を通じた支援の輪を広げるためのさまざまな取り組みを予定しています。



「nanaco」と「BOSAI POINT」の連携方法

STEP1 会員登録

「BOSAI POINT PROJECT」の公式HPから会員登録ページにアクセスし、必要な情報を入力してアカウントを開設。



STEP2 カード連携

カード登録画面で「nanaco」を選択し、「nanacoカード」または「nanacoモバイル」のログイン情報を入力すると連携が完了。



STEP3 ポイント寄付

ポイント寄付画面からいつでも、任意の「nanacoポイント」を「BOSAI POINT」に寄付できます。



■2020年度 グッドデザイン賞受賞



デザインのポイント

1. 自分だけで災害に備える「自助」ではなく、みんなで助け合う「共助」の仕組みで防災をリデザインしたこと。
2. キャッシュレス化でますます増加する「余剰ポイント」に着目し、誰もが持つ休眠資産を防災に活用したこと。
3. 余剰ポイントを「おすそ分け」というスタイルで、日本ならではの寄付文化を確立させたこと。

グッドデザイン賞審査委員による評価コメント

使用されずに眠っている個人の余剰ポイントを、寄付に活用するというしくみは過去にもあったが、共済型という視点は新しい。資金としてではなく、防災品を買って備えておくところまでしっかりとデザインされており、万一の際に役立つしくみと言える。全国レベルで広がりを見せれば、社会的なインパクトになるだろう。企業との協働により、新しいプロジェクトが生まれるなど、活動の広がりも期待できる。キャッシュレス化がすすむ社会で、防災の未来を描く新たなデザインだ。

<https://www.g-mark.org/award/describe/51225> (グッドデザイン賞 Web サイト)

グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、デザインによって私たちの暮らしや社会をよりよくしていくための活動で、製品、建築、ソフトウェア、システム、サービスなど、私たちを取りまくさまざまなものごとに贈られます。かたちのある無しにかかわらず、人が何らかの理想や目的を果たすために築いたものごとをデザインととらえ、その質を評価・顕彰しています。

<https://www.g-mark.org/award/describe/51225>

■ ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS クリエイティブイノベーション部門 ファイナリスト入賞

ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS とは

「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」は、テレビ、ラジオ CM の質的向上を目的に、1961 年より開催されてきた広告賞「ACC CM FESTIVAL」を前身とし、2017 年よりその枠を大きく広げ、あらゆる領域におけるクリエイティブを対象としたアワードにリニューアルしました。

名実ともに、日本最大級のアワードとして広く認知されており、総務大臣賞／ACC グランプリは、クリエイティブ業界で活躍する関係者の大きな目標となっています。

クリエイティブイノベーション部門とは

「ビッグ・アイデア×テクノロジー」

未来を創り出す、世の中を動かす可能性のあるアイデアとテクノロジーとの掛け算で産み出されたプロダクト&サービスと、プロトタイプ。

①革新性、②有用性(有効性)、③社会に根付くか・未来を創れるようなポテンシャルを有しているか、の 3 点を軸に評価を行う部門です。

ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS クリエイティブイノベーション部門 入賞作品詳細

http://www.acc-awards.com/festival/2020fes_result/pdf/2020CI_result.pdf

<BOSAI POINT 運営概要>

名称: BOSAI POINT PROJECT

事務局所在地: 〒107-6107 東京都港区赤坂 5-2-20 赤坂パークビル 7F

事業内容: ポイントドネーションによる WEB サービス運営・防災活動

設立年月日: 2019 年 8 月 29 日

・委員会

委員: 桑城建吾 (HONDA ESTILO 株式会社)

委員: 島田昌幸 (株式会社ワンテーブル)

外部委員: 富山浩樹 (サツドラホールディングス株式会社・株式会社リージョナルマーケティング)

・事務局

亀山 淳史郎 / 浜野 良太

<BOSAI POINT PROJECT 参画企業>

企業名称:HONDA ESTILO 株式会社

本社所在地:大阪府吹田市垂水町3丁目34-15 伸栄第1ビル4階

代表者:代表取締役社長 本田司

企業名称:株式会社ワンテーブル

所在地:宮城県多賀城市八幡字一本柳117-8

代表者:代表取締役 島田昌幸

企業名称:株式会社リージョナルマーケティング

本社所在地:北海道札幌市北区太平3条1-2-18

代表者:代表取締役社長兼COO 渡部真也

<BOSAI POINT パートナー企業 ※順不同>

●ポイントパートナー連携

企業名称:株式会社セブン・カードサービス

本社所在地:東京都千代田区二番町4番地5

代表者:代表取締役社長 水落辰也

企業名称:関西電力株式会社

所在地:大阪府大阪市北区中之島3丁目6番16号

代表者:取締役社長 森本孝

●サービス連携

企業名称:株式会社ソラノイロ

所在地:東京都千代田区平河町1-3-10 ブルービル本館1B

代表者:代表取締役 宮崎千尋

企業名称:株式会社オープン・エー | Open A

所在地:東京都中央区日本橋馬喰町2丁目7-15 ザ・パークレックス日本橋馬喰町7階

代表者:馬場正尊

【本件に関するお問い合わせ】

BOSAI POINT PROJECT 事務局:亀山、浜野

TEL : 03-6441-9162/E-mail : info@bosaipoint.com

【報道関係者お問い合わせ】

BOSAI POINT PR 事務局<(株)マテリアル内>担当:西野、稲生、坪井

TEL : 03-5459-5490/FAX : 03-5459-5491/E-mail : bosaipoint@materialpr.jp

<参考資料>

■防災の輪を広げる、新しい防災のかたち「BOSAI POINT」とは

市場規模 2 兆のポイント大国日本、余ったポイントを寄付して未来の被災地に支援を届ける

日本は無数のポイントサービスが存在し、推定される市場規模は約 2 兆*¹ポイントです。一人当たり平均約 1 万 5670 ポイントを保有していますが、その多くは使用されずに失効してしまいます。キャッシュレス化が進むことでますますその傾向は増えると考えられます。BOSAI POINT は、様々なポイントを使って寄付するポイントドネーションシステムです。

寄付されたポイントは被災地支援のため、金銭に換算して非常食や充電機器などの支援品の購入にあて、来る災害に備えてストックし、災害時に全国各地の避難所に届けます。支援品は、株式会社ワンテーブルと連携します。同社は東日本大震災の被災経験をもとに、電気・水・ガスがなくても食べられる、世界初の 5 年間備蓄可能なゼリー食品「LIFE STOCK」を開発してきました。BOSAI POINT が避難所に届ける支援品の中には、これらが含まれます。

*1 参考:株式会社矢野経済研究所『2018 年版 ポイントサービス・ポイントカード市場の動向と展望』

支援実績:防災グッズの提供だけでなく、新型コロナウイルス感染症対策としての支援も

「BOSAI POINT」は、他地域より先行してサービス展開をしていた 2019 年 8 月以降、様々な災害支援に携わってきました。2019 年には、台風 15 号・19 号の被災地である千葉県南房総市へ防災グッズとして非常用ゼリーを提供するとともに、福島県いわき市ではプロジェクトスタッフがボランティア支援にも参加しました。また、2020 年 2 月には、横浜港沖停泊中に新型コロナウイルスの集団感染が確認された大型クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」(プリンセス・クルーズ運航)の乗客・乗務員の方々に向けて、緊急災害対応アライアンス SEMA (<https://sema.yahoo.co.jp/>)を介して、衛生用品(マウスウォッシュ)を提供。さらに、新型コロナウイルス感染症への対策として、新型コロナウイルス感染症のワクチン開発支援と供給に取り組むグローバル・パートナーシップ「Gavi, The Vaccine Alliance (以下:Gavi)」と提携し、集まったポイントを寄付する活動も実施しています。さらに、2020 年 7 月には九州地方豪雨被害地域である熊本県内の病院への衛生用品の提供や、福岡県と大分県の被災地へ防災グッズとして非常食ゼリーを提供するなどの支援活動を進めています。

被災地への支援方法について

支援グッズには、株式会社ワンテーブルと連携し、5 年間備蓄可能なゼリー食品「LIFE STOCK」が含まれます。これは、同社東日本大震災の被災経験をもとに、電気・水・ガスがなくても食べられるようにと開発した世界で初めて 5 年間の常温保存を可能にしたゼリー食品です。

また、被災時に問題となるライフライン支援として、自発充電器を兼ね備えた移動式の「BOSAI 屋台」を開発しました。電力不足に悩む地域へ運搬し、充電設備をご提供するとともに、情報交換等コミュニケーションの場としてもご利用いただけます。



※5 年間備蓄が可能な「LIFE STOCK」



※BOSAI 屋台(提供:Open A)

寄付した方へも感謝の気持ちを込め 3 つの特典をご用意

BOSAI POINT では、一定ポイント以上をドネーションしていただいた方に下記の特典をご用意しています。

特典1. ご自身の災害時に役立つオリジナルの防災グッズ「BOSAI POINT グッズ」

緊急時に素早く持ち出せるサイズにこだわり、コンパクトかつスリムに収納できるものをセレクトしました。発災後、支援物資が届かない緊急事態の際、24 時間を乗り越えるために必要なアイテムです。

＜グッズ内容＞

- ・備蓄ゼリー(LIFE STOCK2 個)
- ・LED ミニライト
- ・防災用ウェットティッシュ(5 年保証)
- ・アルミブランケット(防塵・防水)
- ・簡易トイレ(3 回分)



※BOSAI POINT グッズ

特典2. 5 年間備蓄可能なゼリー食品「BOSAI POINT ゼリー」

避難所に届ける支援品としても活用される、5 年間備蓄可能なゼリー食品「LIFE STOCK」10 個セットをお贈りします。

東日本大震災の被災経験をもとに開発された、これまでにない新しい備蓄用食品のカタチです。



※イメージ

特典3. 日本各地の食材を使った美味しい返礼品「BOSAI POINT ギフト」

BOSAI POINT では、美味しい特典もご用意しています。災害から復興を遂げた地域の特産品や、オリジナルメニューをお届けします。

Yahoo! JAPAN が運営する、人・社会、地域、環境にやさしいエシカル商品を応援するお買い物メディア「エールマーケット」にご協力いただきセレクトした、スイーツ最中や江戸前ちば海苔などこだわりの美味しいギフトをお選びいただけます。ちば海苔は口どけがよく香りもうま味も際立つ逸品。台風被害を受けた千葉から海産物をお届けします。



※イメージ

「BOSAI POINT ラーメン」は、「食べることが支援になる」をコンセプトに、「ベジソバ」で有名な大人気ラーメン店「SORANOIRO」店主の宮崎千尋氏がプロデュースした BOSAI POINT オリジナルラーメンです。昆布と椎茸で出汁をとった旨味のあるあっさりスープと、グルテンフリーの玄米麺、2 食分を 1 セットとして、BOSAI POINT 20,000 ポイントの返礼品としてお届けいたします。お好みの地域の野菜と合わせてお召し上がりいただくことで、地域の「食べる」を支援できたらという想いが込められています。



※BOSAI POINT ラーメン(イメージ)

また、「BOSAI POINT ラーメン」は返礼品としてだけでなく「SORANOIRO」のオンラインショップ「おうちでソラノイロ」でも数量限定で購入いただくことができます。4 食分を 1 セット 5,000 円(送料・消費税込)として、BOSAI POINT 500 ポイントが寄付される「食べることが支援になる」ラーメンです。

※グッズは累積 10000 ポイント、ホケンは累積 5000 ポイント、ギフトは累積 20000 ポイントで贈呈いたします。

■メインサポーターはサッカープレイヤー本田圭佑氏

BOSAI POINT のメインサポーターは、HONDA ESTILO 株式会社のオーナーであり、プロサッカープレイヤーの本田圭佑氏です。

本田氏は長く被災地支援を続けてきました。東日本大震災後に「Notice of Honda 災害支援基金」を設立。宮城県石巻市にフットサル場を建設したり、被災地の子どもたちにサッカーボールを届けたり活動を続けています。その後も 2016 年 4 月の熊本地震、同年 8 月のイタリア中部地震、2017 年 9 月のメキシコ地震、2018 年の豪雨など多くの災害で寄付しています。

本田氏の協力のもと、BOSAI POINT は全国的なサービスの普及と、世界に日本の防災技術を発信していくことを目指します。

<本田圭佑氏 プロフィール>

生年月日:1986 年 6 月 13 日

出身地:大阪府摂津市

身長・体重:182cm・79kg

現所属:ボタフォゴ FR



本田氏はサッカー選手として活躍するほか、国内外に約 80 校のサッカースクールを展開し、オーストリアやカンボジアではプロサッカークラブの経営に携わっています。2016 年に国連財団から「Global Advocate for Youth」に任命されました。サッカーだけでなく、社会問題などに目を向けながら活動しています。

■BOSAI POINT ご利用方法

- ① WEB ブラウザや下記 QR コードからサイト (<https://bosaipoint.com>) にアクセス
- ② 必要な情報を入力しサポーターとして登録
- ③ サービス一覧から保有しているポイントと連携
- ④ ポイント数を選びドネーションを実行
- ⑤ ドネーション初回特典として本田圭佑メッセージが届きます
- ⑥ ドネーションポイントが一定数を上回った場合、防災グッズなどをプレゼント

